

教 智

東中だより

第279号

令和7年3月12日

生徒数788

先週、284名の三年生が卒業していきました。卒業生は皆、とてもよい顔で卒業式に臨み、自分で決めた次のステージに向かっていくと感じた一日でした。そして、式に参列した二年生に最高学年としての気持ち伝えることができたと思います。

以下は卒業式の式辞です。これからの卒業生の活躍を期待し、本校のグランドデザインにある「自律的考動力」を意識して成長をしていくことを楽しみにメッセージとして送りました。

令和6年度 卒業式 校長式辞（抜粋）

多くの方々の支えの中で成長し、義務教育9年を終えるみなさんの門出にあたり、私から【最後のメッセージ】を贈ります。最後のメッセージは【自律】です

私はこの二年間、朝会や学校だよりで常に伝え続けたことが一つあります。それはどんなときも【自分で考える】ことです。四月から向き合う新しい環境での生活では、わくわくすることもあれば、あれ？今までやれたこととは少し違うなあ、と思うこともあります。そんなときに次のような二つのことを考えてみてほしいと思います。

一つは「続ける」こと。運動で習い事でも学習でもよいので続けてみてはどうですか。でも続けることは意外と難しいです。そんなときに、一日パーセントの15分を投資してみる、前向きな言葉を出しながら続けていく、必死になりながらも「しなやかさをもって」などのことを考えながら続けていけるとよいですね。三日坊主になっても大丈夫です、次の日から再開して続けていくと、必ず成果が出ます。続けるには強い気持ちが大切です。

ある有名なサッカー選手の言葉です。

「努力は報われる？違うだろう。報われるまで努力するんだ（リオネル・メッシ）」

二つ目は「自分で判断して決める」ことです。人の意見を聴いたり、価値観を尊重したりすることはとても大切なことです。ですが周りの言うことや、人の評価を気にして右往左往するのは自分の人生を生きていることにはなりません。これから向きあう生活は「正解のないこと」に「プラスの思考」でいろいろな選択肢があるなか、自分で判断をして決めて進んでいけるとよいです。

卒業生の皆さんは、自分で考える思考になっています。これからは、考えそして判断し決められる人になりましょう。義務教育が終わります。自分で選択をした道を進んでいきます。そこでは新しいことばかりです。困った時悩んだ時は、新しい場所での先生や先輩上司、各家庭にも家族親族の方々が相談にのってくれます。しかしどんなときでも、【自分はこう考える】そして【自分はこうのように判断する】ということをお願いしたいと思います。そこには中学校三年生までの義務教育とは違った責任がつかます。それを自覚して、自律した一人として、新しい場所で考動をしていけるとよいです。

最後に、卒業生のみなさん、東浦中学校の卒業生という誇りをもって、保護者、地域の方々友達への感謝の気持ちを忘れず、自律した考動ができる一人として、活躍することを期待し、式辞といたします。

東浦中学校長 二村圭史

令和6年度 卒業式 保護者代表祝辞（抜粋）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

三年前の入学式、少し大きめの制服に身を包み、緊張の面持ちでこの飛翔館に座っていた皆さんには、まだあどけなさが残っていましたが、今日の堂々とした姿からはそんな様子は微塵も感じられず、みんなこの三年間で心も体も大きく成長したなど、今、改めて感じています。この東浦中学校で、みんな毎日、勉強や運動に励み自分の力を養ってきました。「東中祭」や「合唱コンクール」では、自分の力を発揮するだけではなく、クラスの仲間、学年の仲間、そして学校中の仲間と協力して成功させる力も身に付けました。心一つにして皆で頑張ることの素晴らしさに気づくきっかけになったと思います。明日からは、それぞれの道に歩き出します。きっとたくさんのお会いが待っています。自分を信じて、友情を大切に励まし合い、元気に新しいステップへ踏み出してください。そして心一つにする輪を、もっともっと広げていってほしいと思います。

思い起こせば、私も中学校三年生の今日、皆さんと同じその席に座っていました。この東浦中学校の先輩として、一人の人間として伝えておきたいと思います。これからの時代は複雑で変化の激しい時代です。夢を追いかければ、期待の反面、不安が次から次へと押し寄せてくることもあります。でも考えてみてください。未来を見通せる人なんてどこにもいないのです。そもそも、皆さん一人ひとりが何か動き出すまで、時は過ぎてても未来なんて存在しない。この世の中の全ての事は、やってみなければわからない事ばかりです。だから、何でも挑戦してみよう。どんなことでも冒険してみよう。失敗したら心に刻みこめばいいのです。よく「心と体を鍛えよう」と言います。鍛えた体を測る物差しは、どこにでもあります。でも、皆さんは、心の強さや、心の広さを測る物差しを見たことがあるでしょうか。それは何度も挑戦し、何度も失敗と成功を繰り返した人だけが、心が成長して刻むことができる物差しです。人生の中で、飛べたハードル、飛べなかったハードル、それまでの努力や、喜びも悲しみも、その全てが心の成長のもととなり、心に刻まれ目盛りとなる、それが心の物差しです。心の物差しがあれば自らの成長を感じとれます。他人の心の痛みさえ測ることができます。もっと胸に刻めば、物差しはもっと太くなり自分の心の柱になります。そしてそれは、いずれ自分の信念となるはずで、失敗からの学びは必ず自分の心を大きく成長させてくれるはずで。

皆さんは、今日、義務教育を終え、この東浦中学校を卒業されます。でも、ここが皆さんのゴールではありません。今日、卒業する自分と十年後の自分とは別人ではないのです。今日の自分が明日の自分になり、明日の自分が明後日の自分になり、そして十年後の自分になっていきます。もし十年後こうなりたいとか、あんなふうになりたいと思う何かがあるのであれば、今日やらねばならない事が必ず何かあるはずで、是非、記念すべき今日を大きな夢に向かって自分の足で歩みだすスタート地点にしてほしい。皆さんの人生の中での夢の出発地点にしてもらいたい。そう強く思います。卒業生の皆さんの輝ける未来と、ご来場の皆様方のご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

東浦中学校PTA会長 長坂 知泰

卒業式

3月7日(金)、令和6年度卒業式を行いました。卒業生、在校生ともに、心に響くすてきな歌を送りました。284名の卒業生の今後の活躍を期待し、エールを送りたいと思います。



進路説明会(2年生)

2月26日(水)に飛翔館にて、進路説明会を行いました。2年生のうちに心がけておきたいことや、1年後に向けて準備しておきたいことについての説明を行いました。



愛校作業(3年生)

2月27日(木)に愛校作業を行いました。教室、トイレ、体育館、昇降口など、それぞれの場所に分かれて、3年間使った学校をきれいにしていました。



3年生を送る会

3月4日(火)に3年生を送る会を行いました。生徒会執行部が中心となって、企画・準備をしました。「思い出のハプニングクイズ」や「懐かしの先生からのメッセージ」「後輩からのメッセージ」を行いました。3年生からは、在校生へのお礼の気持ちを込めた歌のプレゼントがありました。

お互いのことを思いやる、とても温かい時間となりました。



表 彰

令和6年度愛知県アンサンブルコンテスト県大会
銀賞 打楽器三重奏

令和6年度中部日本個人・重奏コンテスト県大会
銀賞 金管八重奏

第52回人権を理解する作品コンクール(知多地区)
書道の部 奨励賞